

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

やすらぎ東古松

日付 平成 21年 3月 27日

特定非営利活動法人

**評価機関名**

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

岡山駅から10分程南へバスが進むと、「東古松南町」のバス停がある。降りて1分の所にこの町内の空気に溶け込んだような「やすらぎ東古松」のホームがあり、6人の元気な方々が住んでいる。バスの時刻の都合で9時半にホームに入らせてもらうと、もうすでに朝の体操をオリジナルの音楽に合わせて済ませ、お茶とおやつの次の日課「散歩」の支度にてんやわんやの状態だった。「今朝はまだ寒いでしょう。お元気なんですね」と私が声をかけると、「天気の際は暑うても寒うても歩かんと…。毎日歩いとるからこんなに元気でられるんよ」とAさん。皆さん、帽子に防寒具をしっかりと着込んでお出掛けだ。殆んどの人が自分の足で歩けるし、この午前・午後の散歩は特別な事がない限りずっと続いているので、近隣の人達が「やはり歩かんとあ。毎日歩いとられるから、あんなに元気でられるんじゃ」と噂していると聞く。ケアプランの本人の希望の欄にも「ここは散歩に出られるので嬉しい。足腰が弱らないようできる限り出掛けたい」等の記録もよく見られた。散歩だけでなくホーム内でも、例えば「トイレのついでにフロアを一回り」といった自立のための支援をよく組み入れている。

身体機能のレベル維持に加えて、このホームの最も特徴的な事は、脳の活性化への取り組みが系統的、持続的に行われていることである。かつて公文教室の指導者であった管理者が、その指導のノウハウや数多くの教材を駆使して、利用者の日々のリハビリと楽しみにつないでいる。突然訪問した私達にはとても手に負えそうにもないパズルや昔ながらの遊びを、なんなくこなしている。喜々として挑戦している。成し遂げた喜びに浸っている。6人皆同じ事をするのではなく、それぞれにやりたい事を選んでいて、気の合う者同士が仲間になっている事、その人の力にぴったりのものが用意されている事等、多くの配慮があるからこそ、こんなに楽しい笑い声が響いているのだらう。

このようなスタッフの数知れないほどの支援の功が奏して、入居前に相当に心身のレベル低下がみられていた人も、しばらくここで生活している内に状態が回復してきたという例を何人も知ることができた。中には在宅介護に戻れた人、小規模多機能ホームに移れた人等、何人かの記録を見て、「東古松やすらぎ」の力を改めて深く感じ取る今日一日となった。

**特に改善の余地があると思われる点**

このホームには他のホームでは真似のできない独特の良さがある事を、何度か訪問している内に私はしっかりと確信している。そして、この街に溶け込むように佇(たたず)んでいるホーム内で展開されている「素晴らしいケアの在り方」を今以上に地域の方々に知っていただき、「認知症の方が質の高いケアによってこのような暮らしを実現できる」という事を実感してもらいたいと願っている。その為に、今日の外部評価のように、町内会の人々や隣近所の方々に、行事や食事会でも入ってもらい、普段の生活をよく見てもらうチャンスを増やしてみてもどうか私は思う。運営推進会議を小規模な形で開き、打ち解けた話し合いや意見交換をしてみるのも良いのではないかと思います。

## 2. 評価結果(詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 改善項目に特に挙げていないが、このホーム設立時の思いは全く変わらず職員もよく理解した上で、日々の具体的なケアについては、よく見直ししたり、改良して様子を見る等の努力を重ねている。</p> <p>2. 全体的に見て…: グループホームを次々と訪問していると、「自分が将来入りたいようなホーム。自分の親を入居させても良いと思えるホームを目指す」と話す管理者によく出会う。ここは正しくそれを実現したホームである。95歳近くまで独り暮らしをしていた実母の為に、この母ゆかりの地に5年程前、6人規模のホームを立ち上げた。「母を他所には預けたくない。施設らしくなく、職員も含めて大家族のような雰囲気の暮らしを実現したい」と熱く語る管理者の母は、もうすぐ百歳に手が届く。毎朝美しく化粧をして、りんとした佇(たたず)まいが、私達を圧倒する。この方を目の当りにして、私は「このホームが目指したものは、このかくしゃくとした姿だろう」と思った。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 限られた敷地内に、ある拘りをもって作ったホームであるので、その範囲内で初心を忘れず、落ち着いた日々の暮らしの為に多くの工夫を試している。</p> <p>2. 全体的に見て…: 他のホームのようなゆったり感はないが、反面、日本の家庭の延長のような距離感があり、見守りし易く、動きが悪くなった人も捉(つかま)り易い家具などがあつたりと、この利点を十二分に活用している。昼間、居室に籠る人は普段は居らず、リビングルームに皆揃っているため、特にテーブルの位置については職員が気を付けている。記録の中にも「さんとさんの席を変えてみたら」といった提案も見られ、利用者同士が気持ち良く過ごせるようにといった配慮が伺われた。利用者間の会話も多く、表情も皆活き活きしていた。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 一人ひとりの力と経験の尊重は、このホームが最も大切にしたいと願っている理念と思われ、今日一日の行動の中にもその取り組み姿勢がよくわかった。</p> <p>2. 全体的に見て…: 外部評価は2月2日が続いていて、丁度Bさんの誕生日の日に当たる。お寿司と刺身の大御馳走にケーキのお祝いが続く。Bさんは今年も職員にお化粧とネイルアートしてもらい、ちょっとはにがんで「私、なんぼになったんかなあ? 86か? いや、もう忘れた。毎年若返りやええのに。そしたら、その内ハタチになる。又、初恋しようか」から始まって、若かりし頃の活躍話につながる。「Bさんは社交ダンスにお金注ぎ込んだんだって!!」の話から、Bさんのリードで私もタンゴを踊ってしまった。「お上手ですね」と私が感心していると「タンゴくらいなら。昔取った杵柄じゃ」と、今日はBさんがこのホームの花形だ。一方、どんな時も一番でないといふ不機嫌になるCさんを、職員はさりげなくフォローしている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: ホーム内で会議が出来ないからと決めつけず、可能な方法で町内会や近所の人に入ってもらって、ここでの生活の有り様を知ってもらえば、今以上の理解も深まり、災害時対策にも役立って良いと思う。</p> <p>2. 全体的に見て…: この町内会は街中の割に大掃除・草取り・夏祭り・秋祭り・餅つき大会・バス旅行等町内行事が多いと聞く。このホームも可能な限りこの輪に加わって町内の人達と交流して楽しんでいる。又、毎日2回の、近くの公園散歩での近所の人との触れ合いも、「あの人はうちの町内のホームの人」との認識の原点となっているだろう。「あのホームに入れてもらえれば、元気で長生きできるらしいよ」が口コミで広がり、地域の人の安心の種になるに違いない。「どんな事があっても、寝たきりにさせないよ」という意気込みとその証しを、今後も出来る限りオープンにしていって欲しいと願っている。</p>		